

授業概要

本授業は経営学の歴史についての講義である。
古典的経営学、近代的経営学、人間関係論、コンティンジェンシー・セオリーなどの伝統的な理論分野から現代の経営理論に至るまで幅広い領域にわたる内容を講義する。
経営戦略論、経営組織論、経営管理論、イノベーション論などを学ぶ上で必須の内容を理解することも狙いとしている。

授業計画

第1回	概要：年表
第2回	古典：テイラー、ファヨール、ウェーバー
第3回	近代：バーナード、サイモン、マーチ
第4回	人間関係論：メイヨー&レスリスバーガー
第5回	モチベーション：マズロー、マクレガー、アルダファー、ハーズバーグ
第6回	リーダーシップ：リッカート、フィードラー、ハウス、ハーシー&プランチャード
第7回	コンティンジェンシー：バーンズ&ストーカー、ウッドワード、ローレンス&ローシュ
第8回	経営学の巨人：ドラッカー
第9回	組織と戦略：チャンドラー
第10回	企業戦略の父：アンソフ
第11回	競争戦略の大家：ポーター
第12回	創発型戦略：ミンツバーグ
第13回	資源ベース戦略：ハメル&プラハラード、バーニー、ティース
第14回	イノベーション経営：クリステンセン、ゴビンドラジャン&トリンプル、オライリー
第15回	学習する組織：センゲ、アージリス、スターマン
第16回	期末テスト

到達目標

経営学の歴史的流れを論理的に理解する。
経営学における主要な研究者の理論について説明できるようになる。

履修上の注意

レポート課題やその発表がある。
欠席・遅刻には厳しく対応する。

予習・復習

予習・復習のための課題は授業内で毎回指示する。
主に読解力や文章力を鍛える課題である。

評価方法

授業への取り組み、課題の提出状況、レポートまたは試験により総合的に評価する。
期末試験（